

週寫  
報眞

情 報 局 編 輯

二十九年九月二十日 第二十五號



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



ゴムが足りない 砂糖が少いと言つて  
 すぐ南を口にしてはいけな  
 南方建設はわれわれの生活  
 の中にある

「時の立札」は他へ轉載その他に御利用下さい

# ラツフルス博物館に入る 昭南

撮影 陸軍報道班



昭南博物館の一隅に懸架するラツフルス像とその説明書

分！スタンプカードラツフルス像  
 本報ハ西曆千八百十七年六月、ロンドン女王  
 在位五十年記念三英里シナガポール建設者  
 トムソン像ノ功績ヲ記念シテ現在ノ市政廳前  
 廣場中央ニ建設セラレ、其ノ後十九百十九年二月  
 英國ノシナガポール占領百年記念祭ニ際シ、  
 アラバイン、繪王西廣場ニ轉移セラレタルモノナリ

イギリス東亞侵略の象徴としてなからくシン  
 カホールのエンブレム廣場に倣然と大英帝國の  
 擄取と繁榮を見守つてゐたスタンプカード・  
 ラツフルスの銅像もシナガポールがわが新領  
 土、昭南と生れ變り、わが大東亞建設の據點と  
 しての逞しい鼓動をはじめるとともに、このほ  
 どエンブレム廣場の王座から引き下され、イギ  
 リス百年の野望とともに一個の記念品として昭  
 南博物館の一隅に仕舞ひ込まれることになつた  
 スタンプカード・ラツフルスは十九世紀はじ  
 め、スマトラ島ベンクレインの副總督の時、シ  
 ナガポールがイギリス東亞侵略に最適の根據地  
 となることを見てとり、ジョホール王から甘言  
 をもつて只同様の安値で買取つたものである  
 ↑ エンブレム廣場の下座から引  
 きおろされるラツフルス像



# マレー建設に若き現地人指導者

朝陽、國旗掲揚、新しい国土の一員としてより上るこの感激

## 昭南の興亞訓練所

マレー軍政監部では地方行政の強力な指導者を養成するため、昭南に現地人官吏養成所として興亞訓練所を設け、各州から選抜した優秀な青年を集めて短期訓練を施してゐる。

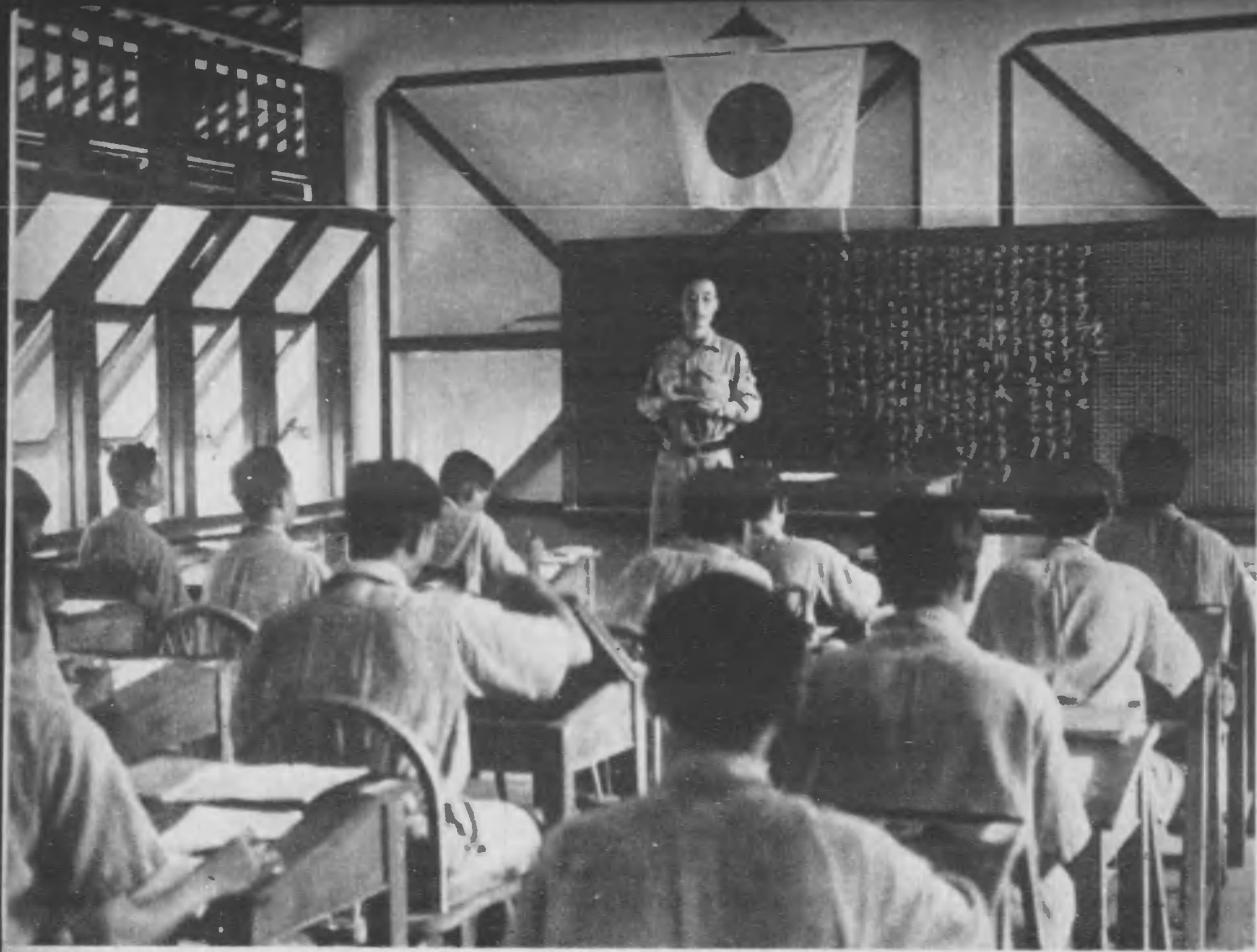
マレー建設の挺身隊として厳格な考査を通過したこれらの青年たちは、若き指導者としての自負と希望に燃えて日々、わが軍隊式の訓練にいそしんでゐるが、大東亞民族の一員としての自覚と矜持を體得した彼等が民衆の中に立ち還つて活躍する日こそ、白らの汗の貴さと、建設協力によるこびを深く味はふにちがひない



□ 飯の持ちかたもまだおぼつかない。しかし汗のよろこびを一日々解るやうになつて来た



□ 地帯の隅にはぐいまれて野奔畑も見るとなつた。自給自足の御馳走の出来る日が待たしい



□ 日本歴史の時間だ。「オオチノミコト」に青年は白ウツギと違ふ



□ 早い夕食をすましてはもう速者に日本の歌を唄ふ





# 初めて武器をもつて立ち上った

## ビルマ防衛軍の日本式猛訓練

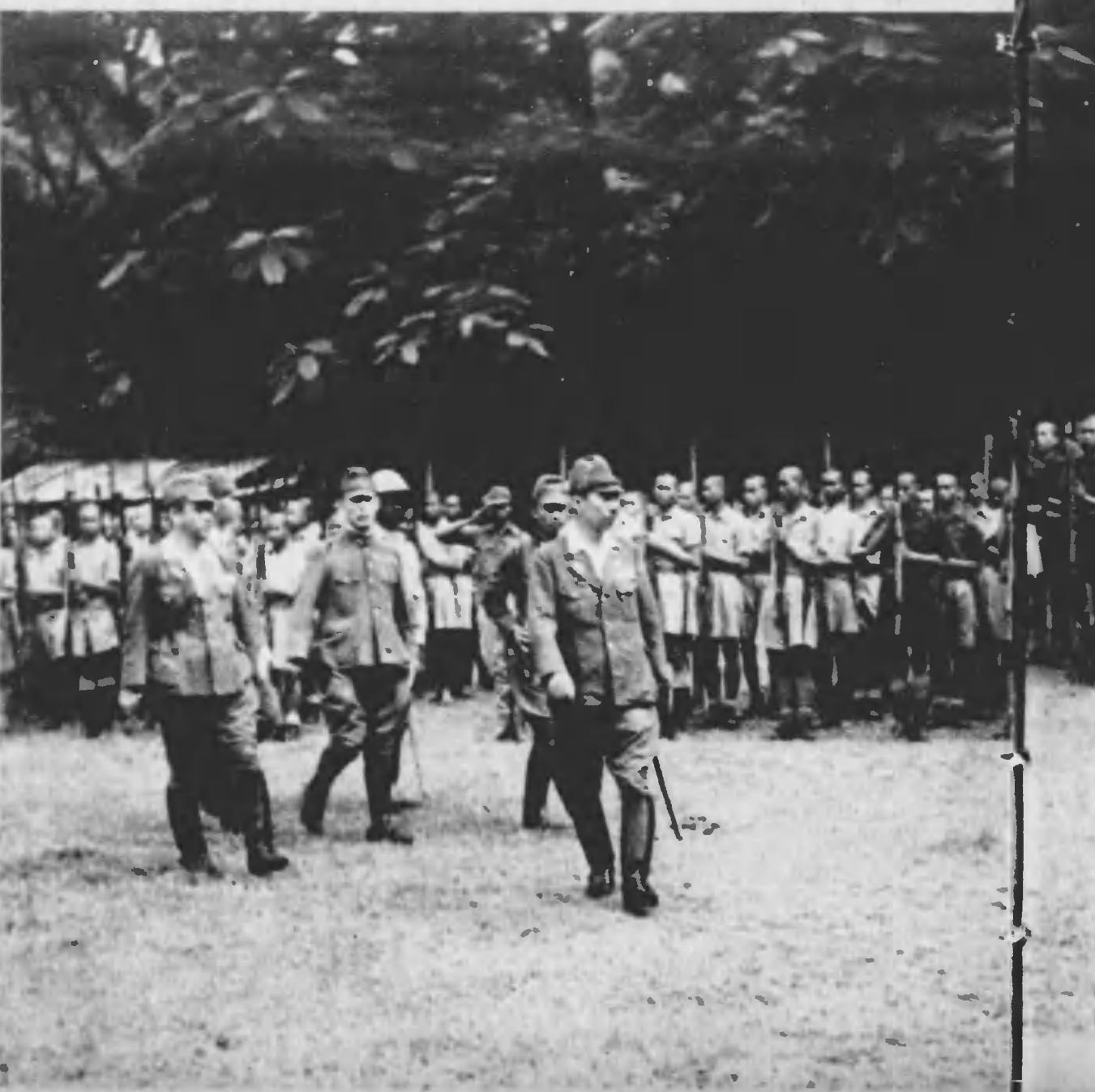
去る八月、新生ビルマ行政府の成立に前後してビルマ防衛軍が誕生した。およそ半世紀の間、イギリスのために武器を奪はれてきたビルマ人が、初めて武器を持つて立ち上ることが許されたのだ。

ビルマ防衛軍はビルマの四箇所に兵營を設け、いま日本式の猛訓練をうけてゐるが、八月二十四日にはビンマナに勢揃ひして、飯田最高指揮官からの初め兵を受けるの名譽を授つた。防衛軍中佐タキン・オンサンの感激的総指揮によつて行はれた分列式はまさに元氣横溢、敵ふビルマの叛母しさを窺ふに十

分であつた。

このビルマ防衛軍こそ、わがビルマ作戦中、ビルマ全土にわたつて活躍したビルマ獨立義勇軍（B-1A）の組織化された姿に他ならない。

「ビルマ防衛はビルマ人の手で」彼等の多年にわたる念願は見事に結實したのだ。いまやビルマ防衛軍は、大東亞共榮圏建設の一環を擔ふ新生ビルマの希望を一つに集めて、わが飯田最高指揮官の麾下に正規軍としての面目に輝いてゐる。



1 外出日にラングーン市街を行進するビルマ防衛軍隊

2 ビルマ防衛軍隊に各個教練を指導する皇軍勇士

3 新たに麾下に編入されたビルマ防衛軍を閲兵する飯田最高指揮官

4 兵營廣場に軍日なすビルマ防衛軍隊の訓練場



撮影 陸軍報道班

4





⇒ 警備隊の兵士も、警備や練武の小隊を利用して蔬菜を作り、食糧の自給自足を實行してゐる。



⇒ 總督部でも、下部行政組織の運用には殊に重點をおいてゐる。地区事務所、區役所は民衆のよき相談所として大繁昌

## ＜近年一歸復アジアの港香＞

香港の治安はきほめてよく、政治的犯罪などは起つた例がない。十月末、在米米空軍が、數回に亘つて香港を爆撃した時なども、最初の一回こそ、慌てて門を閉めたり、食糧の買溜めをしたりした者もあつたが、第三回あたりからは警報下、完全に當局の治安維持に信頼してゐた。香港が戦前、抗日の本據であり、現在でも政治的陰謀に長けてゐる重慶政權が絶えず目をつけてゐることを考へ合せると、これは全く驚異に値ひする。

経済的にも、市民生活に密接な關係をもつてゐるガス、水道、電気事業などは戦後まもなく回復し、またビール、マッチ、麻、綿織物等の輕工業も、邦人の進出を待ち、或ひは華人の經營で多數採業を始めてゐる。殊に戦前、その規模の雄大さを誇つてゐた港灣、倉庫、船渠などの貿易施設が、完全に大東亞共榮圈内の物資交流に役立つのも間近く、既に

廣東との間には相當多額に及ぶ交易が行はれてゐることが注目される。その他、文化、衛生または住民の生活態度などにおいても、戦後、素晴らしい更新ぶりを示し、健全なアジア復歸への途を辿つてゐるが、約一世紀にわたるイギリスの専政から解放された住民の安居樂業が、重慶政權下にある西南支那の住民に及ぼす影響は頗る大きく、支那事變の解決促進に果す香港の役割は見逃せない。

かつては英政府や重慶の遠方もないデマ宣傳に惑はされてゐた住民も、現在では大東亞戦争の結果や重慶の進行について正しい報道が與へられてゐる。

麻織工場は、既に戦前の生産能力をとりもどしてゐる。華人工員は優秀な船舶用器具の製造に大量

英政府時代は全然顧みられなかつた農村方面も、總督部の農村復興政策に俄然活氣を呈し、農民も自給自足を目指すやうに勵んでゐる。





# ガヨ族にも皇恩洽く

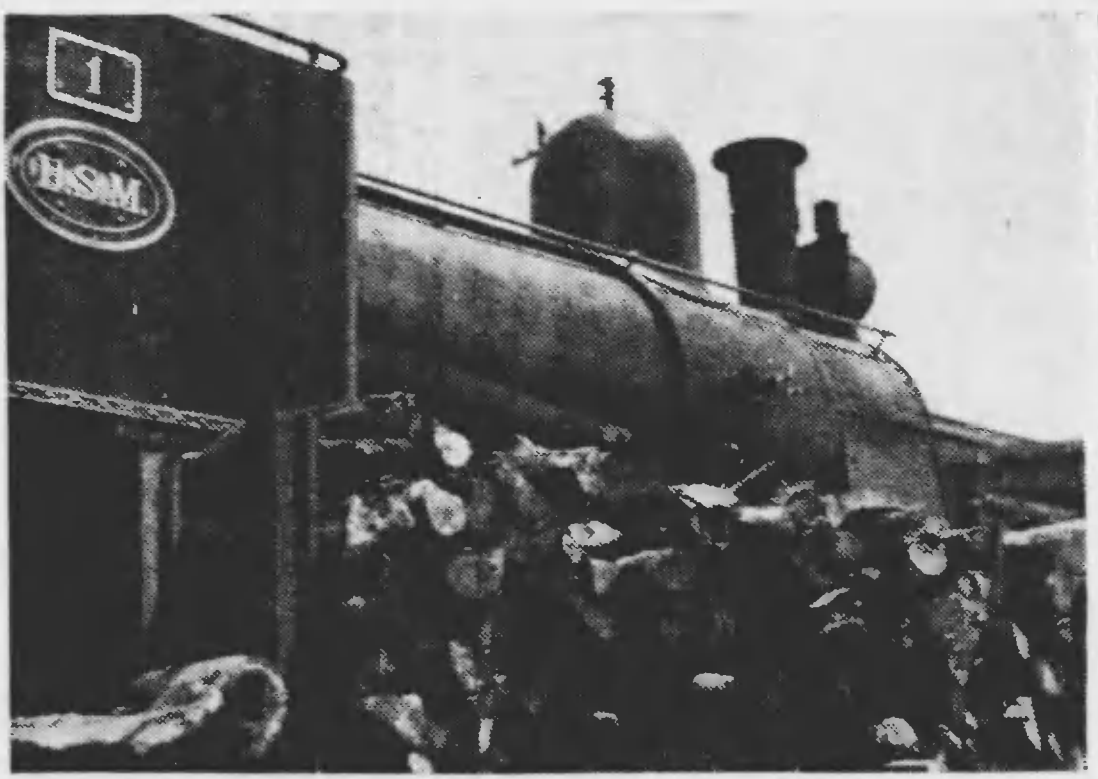


## スマトラの建設すゝむ

野蠻に墾する日京族にメダンの街に  
 露天市場に集つたガヨ族の顔にも平  
 かな生活を楽しむことの喜びと信託  
 が溢れる。

南方占領地中、未開の實地とし  
 て最も有力な一環であるスマトラ  
 も、すでに着々と本格的建設の歩を  
 すゝめてゐる。行政區域としては  
 マレー軍政管下に屬し、一ヶ年推  
 算四千餘万ギルダーの豫算で産業  
 建設土木復舊等の生産方面に重  
 點をおいて支出し、約八百万のイ  
 ンドネシア人をはじめ、支那人五  
 十万その他、混血人、第三國人等と  
 言葉や習慣を異にする複雑な民  
 族も、皇軍の一視同仁、ひとしく  
 大東亞民族の一員としての取扱に  
 渾然として融和協力してゐる。殊  
 にインドネシア人の協力態度は積  
 極的であり、蘭印軍討伐後の全島  
 の治安には、何ら心配するところ  
 はない。かうした情況の下に石油  
 の、石炭の、金の、ゴムの重要國  
 防資源の島スマトラは、棉花や、  
 錫や、さらに將來より以上の木炭  
 發資源の開發によつて、南方の實  
 地としての眞價をわれわれに見せ  
 てくれる日も近いことであらう。

撮影 陸軍華山班



等に立つて丸の旗と日本字の標札の下  
 には、これにもはやなる風俗の  
 下

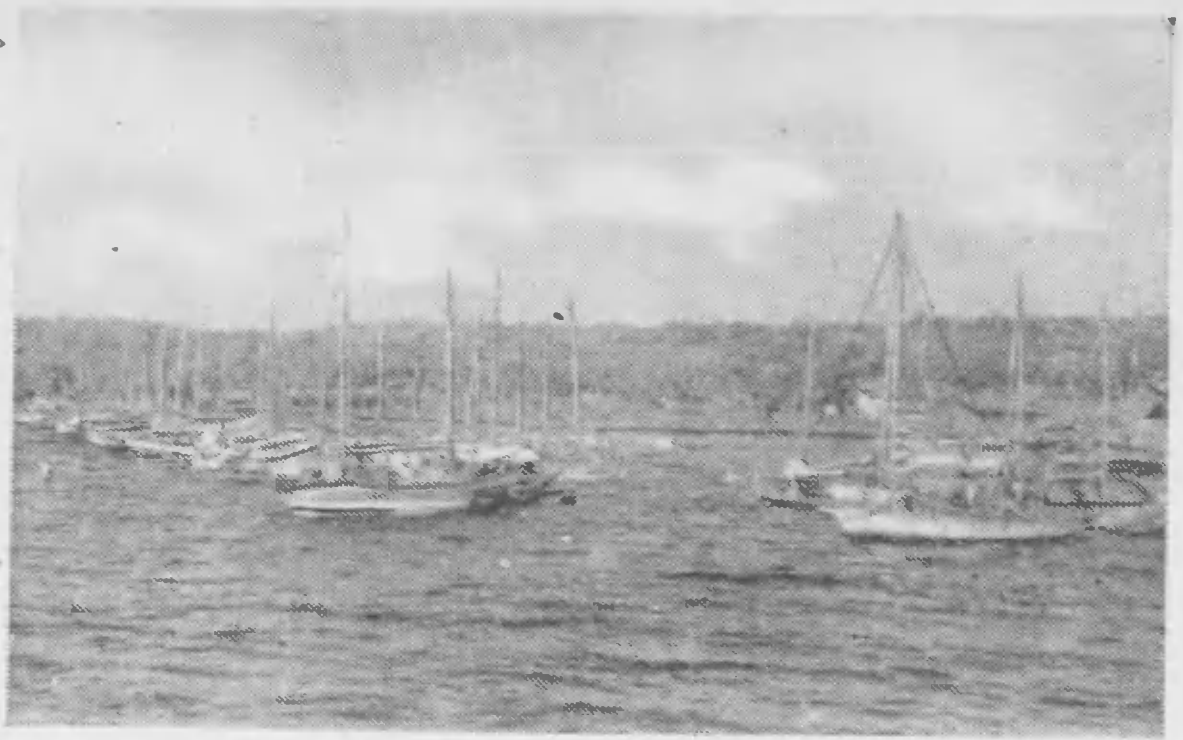
この信標の横文字もいづれは村長宅  
 より、止れ、逆の信標に原住民達は朗  
 らかに指導されてゆく







アンボン港に集った邦人の漁船群  
撮影 佐伯隆雄報道員



# 旗漁大るがあに南

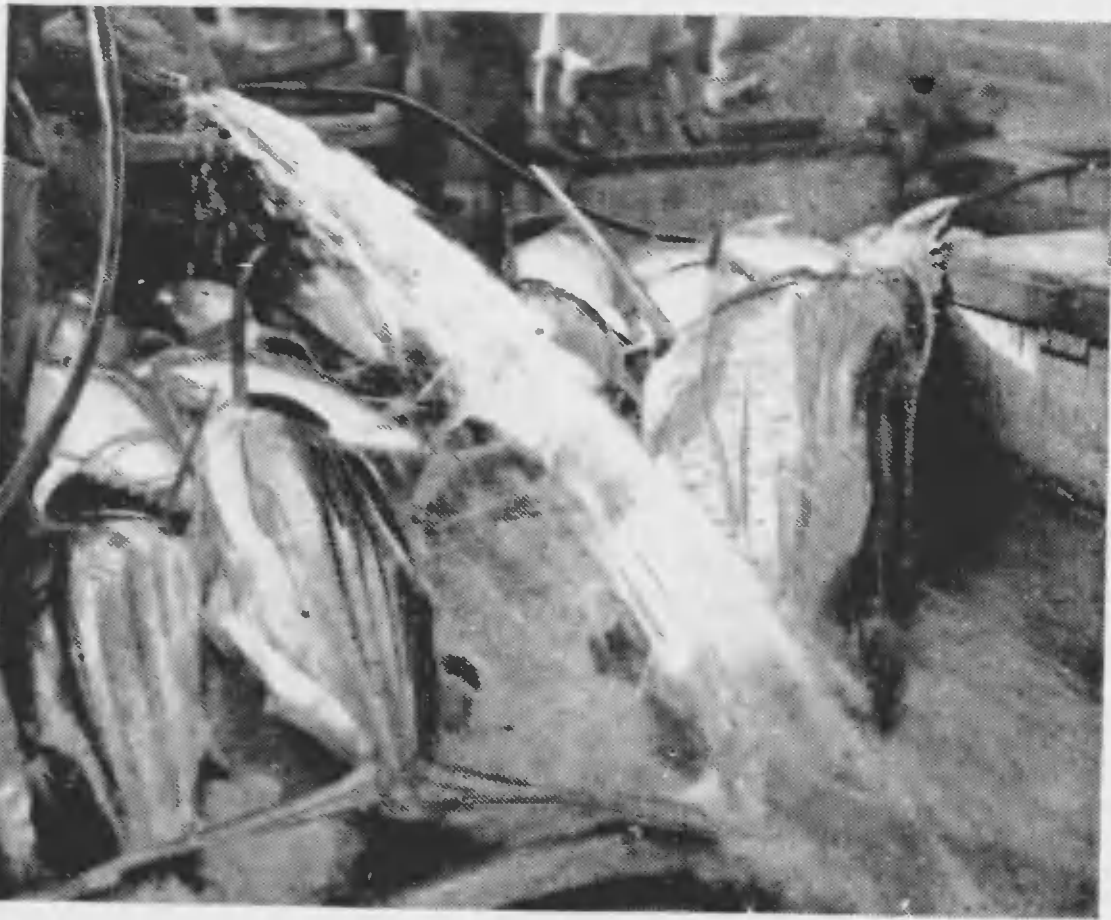


南方占領地は、石油やゴム資源とともに水産資源の寶庫でもある。鮫が、カジキが、鯨が無数に釣れる。マングラハの有数漁場を控えたモルッカ諸島アンボン港には、いま邦人漁船が如集し、時には敵艦を頭上に迎へても平氣なもので、マングラハを縦横に釣りまくつてゐる。

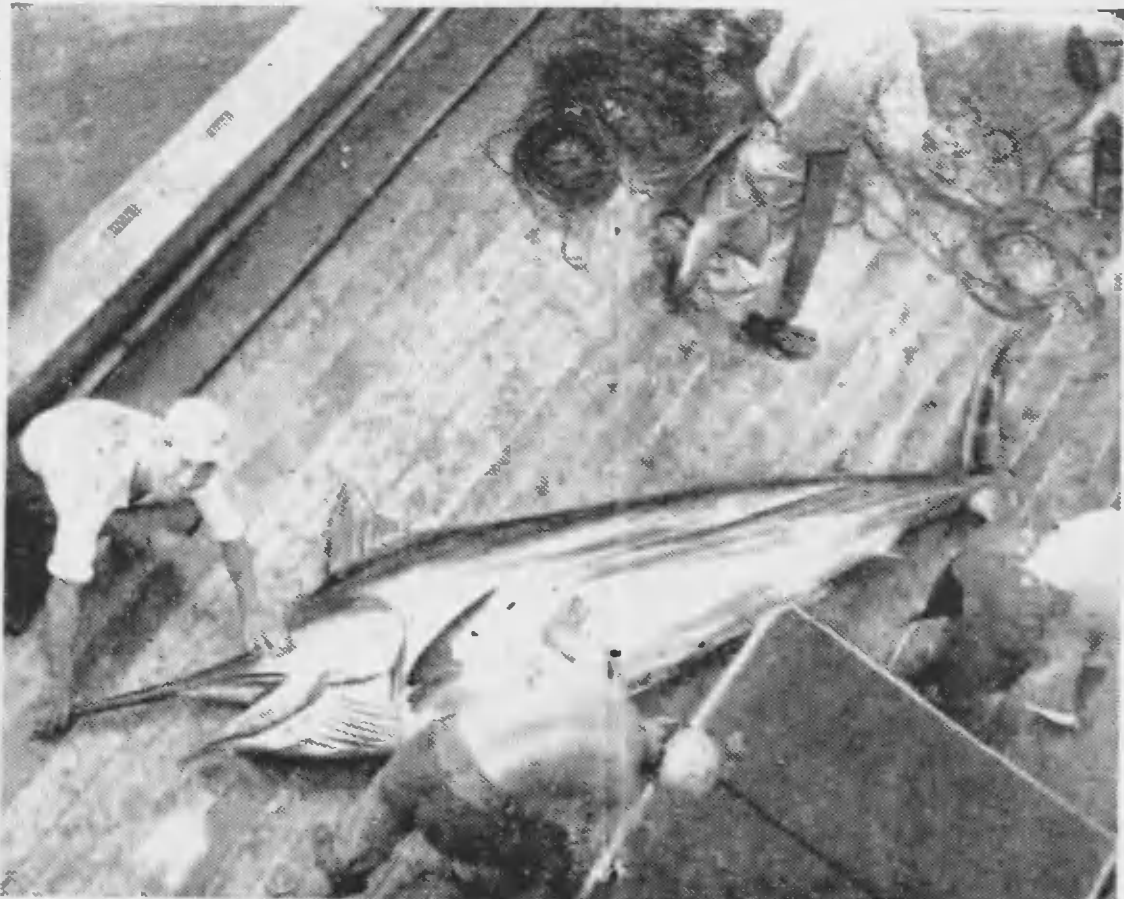
大體、南方漁業は、戦前から邦人の活躍舞臺であつたが、その漁場が、晴れてわがものとなつた以上、いまこそわが漁船は、誰にもはじかす日の丸を押し立てて、時の建設に歩調を合せて水産資源の獲得に萬丈の氣を吐いてゐる。

鮫漁船の集舞け作業

マングラハ海に探求求めてアンボンに集いし沖繩の漁船



鮫、カジキ等南海の巨魚は無数に釣れた



マングラハは魚の地。釣つてゐる。釣れたぞ、全長三メートル強もあり、日方三百キロを越すシロタツカジキ





# マルビ 題三

真珠道報車陸遣派マルビ  
馬透林北

## ビルマといふ名

ビルマといふのは、無意、ヨーロッパ人が勝手につけた名で、この國自身の本来的なものではないし、緬甸といふ文字は、これはまた支那語で、遠い片田舎といふほどの意味ださうだから、無論、この國の人々をあまり喜ばせる文字ではないだらう。それならば、ビルマでもなければ、マでもない、緬甸とを組み合せた支那語を、わざ／＼ビルマと読む意味も必要もないわけである。この國の人は、自分たちではミャンマーと呼んでおり、これは「素直」こくつて強い」といふ意味だ、といつてゐる。店の看板にもこの文字を使つてをり、新聞の題字にも使つてゐる。僕たちもこの國の人たちに話す時には、なるべくこの言葉を使ふやうにしてゐる。彼等が喜ぶからである。

同様にラングーンといふのも、英國人がつけた名前だ、本来的にはヤンゴンであり、これは戦争の終結、つまり勝利を意味する言葉だといふ。してみると、この言葉に仰光といふあて字をした支那人は、ちよつと気がきいてゐる、といへるではないか。ミャンマーはミャンマーで好むと思ふが、もし強ひて漢字を當てようといふのなら、どんな文字が好いだらう。美矢馬なら、矢は

グとさせて、何か喰べてをり、とき／＼傍の聲を引寄せては、ベッベッと呼を吐く。住民はその前に小さく坐つて坐つてをり、輪廻、如といふ感じで固く坐つてゐるのを見たと、まことにこれも變な氣持のものである。ビルマに生れた男子は、誰でも一度は出家して坊主にならねばならず、その期間が長ければ長いほど、後に社會に出てからの信用が増すのだと聞いたが、僕の部屋へ遊びに来るビルマ少年の一人もまた、或る時「明日、坊主になる式をやるから来て下さい」と言つてきた。

その日は丁度、他に用事があり、行けなかつたのだが、それから四、五日して、またその少年がふらりとやつてきた。どうした、坊さんにはならなかつたのか、と訊ねると、笑ひながら帽子を取つて見せた。奇麗に頭を剃つた青坊主である。「三日だけ坊さんになりました。それで好いです。」

三日坊主、といふ日本の俗語があり、物ごとの長つどきをしないことに使はれてゐるが、ビルマでは三日だけ坊主になれば、それで男子の義務を果したことになるらしいのである。

# のりたふ 人度印

てに近附路又三マヲキブ  
重庫山景 兵衛市時

武器のシンボルだし、馬は走つこいし、つまり美しく、強くて、走つこいといふことになつて、いくらかミャンマーの意味になりさうにも思へるが、これはまた國學者諸氏にでも、あつたためて考へて置くことにしよう。

## 挨拶と禮儀

挨拶といふもの、言葉は無論だが、元來がさういふ觀念が、この國には無いのではないかと思ふ。マバ、エ、ラ、略してマエラといふ言葉があつて、『今日は』といふ意味に使はれることがあるさうだが、僕の少い経験では、實際にそんな言葉で呼びかけられたことがなく、殆んど挨拶らしいものを受けたことがない。

情事小隊で前線に出てゐた時も、僕らが挨拶してゐると、とき／＼その部落の有力者といつたやうなものが、訴へやら、陳情やら、或ひはまた敬意を表しにやら、二三人でやつてくるものがあるが、そんな時のその人たちの態度といふものは、日本流に表現すれば、まづたくもつて横柄まるものなのである。

案内も乞はずに、いきなり宿舎へはいつてきて、無遠慮にじろりと見まはし、一番偉さうな人間のところへ行く。大抵は、肩章に金筋のある将校の前へいつて、此方ぶすはつてゐれば、どかりとすはり、立つてゐれば立つたまゝで、いきなり話しかける。

『自分はこゝから二哩ほど離れたところに住んでゐる者だが、日本の兵隊の警備が厳重で不便で仕方がない。道を歩く許可證か、證明書を書いてくれ』なるべく住民に、不自由や不便はさせない。



シンガポール島を眼前に見、部隊は決河の如くジ、ホル水道に到着し、企圖を秘して渡河準備に没頭してゐた時、部隊に二人のインド人を使用した。その名はルン、コンダマといつた。どちらもがつかつた。顔にはひげを生やし、人のよささうな美を浮べ、絶対に我々を信用してゐること、早くから見受けられた。早速、この二人は、丁度人員に不足してゐた引田佐長の傘隊の使用人となつた。

い、といふのが日本軍のたてまへだから、相手が間違ひのない人間だ、といふことが分れば、出来るだけ「良民證」を發行し、便利をはかつてやることにしてゐるのだが、此方がいそがしいなかを、いろ／＼相手の身元を聞きだしたりして、良民證を發行してやつても、受取つて歸る時は、あつさりしたもので、『有難う』でもなければ、『御苦勞さま』でもなく、黙つてすうすうと歸つてしまふ。

## 新らしき防人は歌ふ

ラングーン情報 鈴木中尉  
ビルマ遠征軍情報 大岡重雄  
ビルマ遠征軍情報 秋山重雄  
ビルマ遠征軍情報 乾 福藏  
マレー遠征軍情報 藤 馬 隆  
天地の神も震らせわれもはや世界史創る防人なれば  
雨すゞて色あらたなるゴム林にマレーの子らの聲たかまりぬ

といへば、決してさうではなく、大きな西瓜などたくまん擔がせてきて、『欲しいもの、不足なものがあつたら、いつて下さい。何でも、私の持つてゐるものなら日本軍に差上げます』などと申出てくる時も、態度は同じであり、呉れいへば、實に氣前好くあつさりといつて、決して思に着せたりやうな顔はないのである。

## プキテマ三叉路

藤原家 藤田 剛治

目を經るに隨つて、よくなつき、ますますよく働き、その忠實さは全く部隊の人氣を背負ひ、分隊にはなくてはならぬ存在となつた。わけでも同分隊の坂根上等兵、前島上等兵には最もよく親しみ、よき主人として手足のやうに立働きの力を得て、前にも倍して活躍することができた。満を持したジ、ホル水道の強行奇襲上陸は、見事敵の陣を衝き無血上陸に成功した。しかし、敵は牙城と待み、しかも近代装備を施した英國が中外に豪語せし要塞だ。敵にしても、さう易く破れる筈はない。上陸成功の安堵も東の陣、銃砲による猛烈なる反撃に遭つた真夜中の上陸は無意味に薄暗い。敵の砲撃は間断なく炸裂する。部隊の集結も容易ではなかつた。二人のインド人も初めて受ける砲撃には瞬間たじろいたが、分隊を離れてはならじと、しっかり引田佐長にひついつて動かさずともしない。それはばかりか分隊の前進路の偵察にまで身をまかせようとするではないか。既に兵隊と生死を共にする覚悟はできてゐたのだ。月明を利用する部隊の攻撃

世を假りの世とみる、といふ佛教の考へ方が觀念の基準的なものを形造つてゐるからでもあらうか。

文字通り三日坊主  
坊さんのことをボンチといふ。坊主といふ字を當ててみると、この言葉と文字の間に、何かの連絡がありさうに思へるのだが、或ひは何の關係もないかも知れない。坊さんは、黄色の衣を着てゐるが、これがタイでは純粋に黄色であり、ビルマでは著るしく赤味を帯びた黄色である。殆んど褐色に近いのもあり、さういふ色の布を、斜めに肩から身體に巻きつけ、日が照つて暑い時には、残つた布をぐるりと頭へまはして、頭布のやうに包んでしまふ。確かに、日本にあるグルマの風俗であり、こゝでは生きたグルマさんが、たくさん街を歩いてゐるのである。この坊さんの態度がまた儼然たるもので、初めて見たものは大抵腹を立ててしまふ。挨拶をしないのは無論であり、此方から先に挨拶をしかけた場合にも決して挨拶を返さない。お寺へ行くと、佛さまの前に大胡坐をかいてゐるが、時々髪を絞つてゐることもあり、僕等が入つて行つて挨拶しても、起き上りもしないのが普通である。絶えず口をモグモグに、敵も反撃の術なく退却を開始し、部隊は追撃にうつつた。彼等の目にも漸く安堵の色が見えたが、その心はいよいよ強く最後まで兵隊と共にやり通す固い決意に充ちてゐた。

シンガポールが近くなるにつれて、敵の反撃はますます強くなり、死物狂ひの抵抗は口を道つて激しく、砲撃の雨は間断なく身邊に炸裂するが、彼等は身の危険を忘れ兵隊をかばふのであつた。

忘れもせぬ紀元節の夜、プキテマ三叉路東南側附近に集結した部隊に對し、敵の砲撃はいよいよ激しく集中された。その砲撃はマレー戦線において、我々までにかつて経験せざる程最も猛烈なものであつた。兵隊は皆砲撃の間隙を利用して壕を掘り続けしたが、彼等も負けずに作業した。引田佐長の掘らうとするエンピを取つて、同じないながらも手招きでもつて、あぶないから出てはいけなかつたといふ引田佐長を、既に掘つた壕に入れ、自分等は身の危険をも顧みず炸裂する砲撃の真中であつてエンピを動かした。他の兵隊が代つて掘らうと云ふのも制止し、兵隊を壕の中に押しやつて、なほも掘り続ける。勇士にも考らぬ雄々しい姿だ。兵はみな驚駭の眼を睜つた。同時に敵の砲撃がす前に炸裂したと同時に、彼等は兵隊をかばはんものと、何の掩護もなき所に兵隊の上にかぶさり、身をもつて危急を救つた。我が身は如何ともなれ、兵隊だけは救はんとするけなかつた。しかも忠實な氣持の程はその動作に十分に知られた。その猛烈な砲撃によつて、日頃最も親しんでゐた一人の前島上等兵は遂に敵砲弾を身に受け、壕の崩れと共に埋つたが、餘りの瞬間の出来事に誰しも知るものはなかつたが、そ









前方〇〇メートルの敵、打方始まる。待ちに待った敵影を發見、一齊に火蓋を切る

警備のいかめしい兵隊さんも子供たちにかいつては良き友達だ。ワヂヤンは大將かい!



敗走する敵を捕獲殲滅する上陸作戦が決行された

遊匪は良民に混つて後方を擾亂する。不逞分子はあなにか、良民の無事を領事館で検査する

警備艇から本部への聯絡に戦況の報告を運ぶ船

水路を航行するジャンタの艦船

支中輸送水路を護る





# 大東亞一齊にラジオ



「梓さん、早くございます。さアけふも元気でラジオ体操をいたしませう」インドネシア放送員エマ・ウィルヨディノさんの通訳でラジオ体操がはじまりました。東京中央放送局の対外放送室

フィリピンでも香港でも、ジャワでもスマタムでも、またビルマでも、いまラジオ体操は内地同様、健民運動の第一線です。

「昇る朝日の光をあびて……」

盟主日本から放送される明朗なラジオ体操の歌聲は、この廣大な共榮圏の各地域を結びつけて、いまや文字通り大東亞は一つに、力強い體育演練をくりひろげてゐます。

電波がまきちらす希望と健康の贈物「やがて見るからに福々しい原住民たちの體位も、かうしたラジオ体操の普及によつて、建設と歩調を一つに盛り上つてゆくことせう。まこと共榮圏の確立はラジオ体操からといふところですね。



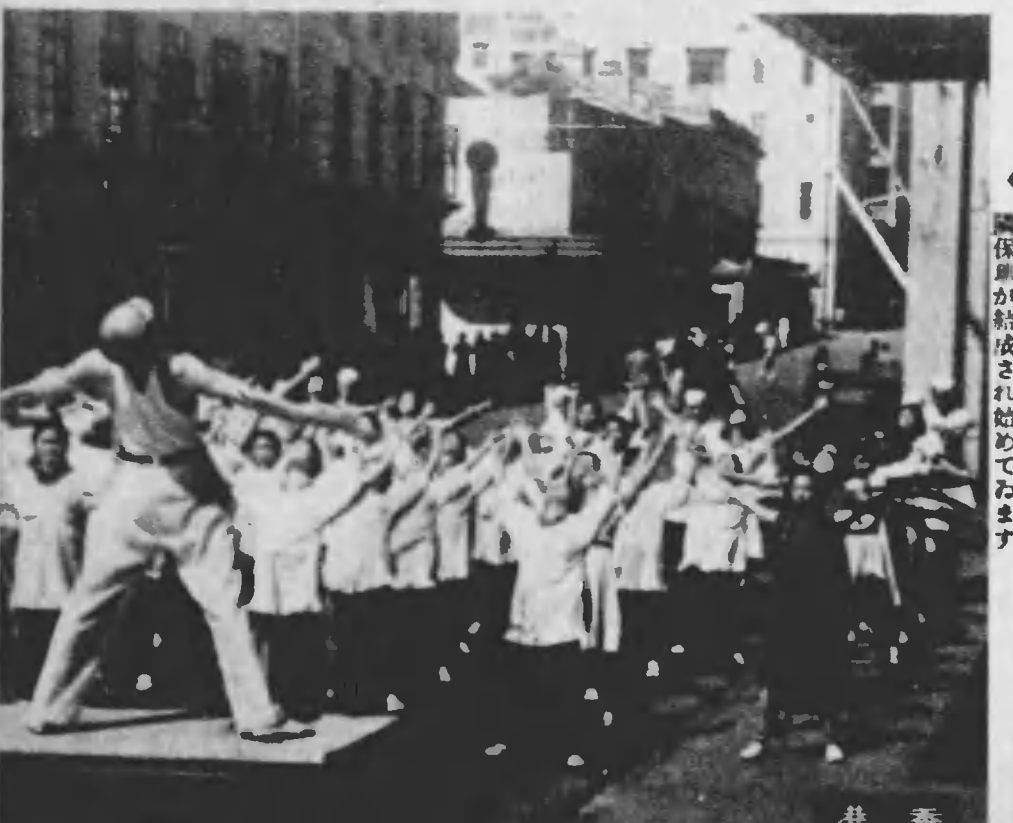
香港



東京



ラニマ



香港



東京



ラニマ



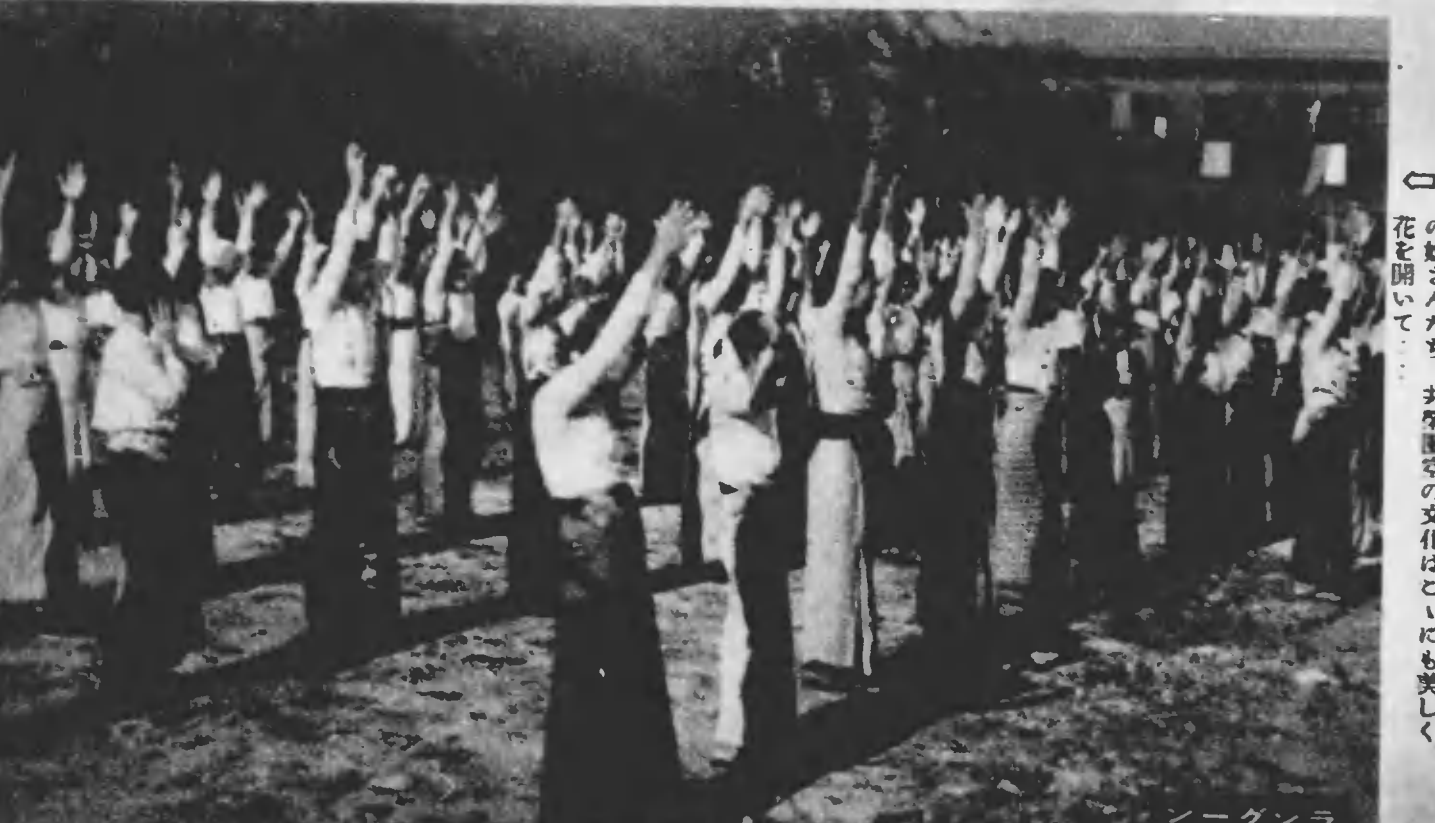
香港



ムアグ



ヤビタバ



ソークンラ

さんくたる熱帯地の朝日をあびて、芝生一杯に躍動するゲームの子供たち、仲ひゆく大東亞の象徴です。

東京の放送局から派遣されたラジオの小父さん酒井重正の熱心な指導で、バクビヤの子供たちも躍動と。もう内地の皆さんより上手かも知れません。

明朗なリズムに乗つてラジオ体操を楽しむビルマの娘さんたち。共榮圏の文化はこゝにも美しく花を開いて。

さすがは本場の東京です。ラジオ体操は東京からと、お昼休みの日比谷公園で、共榮圏にお手本を示す市民の行事を特撮。

フィリピンでもラジオ体操は小学校の児童や会社、工場の従業員等の間に日課として盛んに続けられてゐます。もうこんなに上手になつたマニラの小学校児童たち。

日華仲よく朝の體育會。これまで個人主義生活に立籠つてゐた香港にもラジオ体操を仲介に積極保障が結成され始めてゐます。







# 大東亞戰爭國債

郵便局賣出

十二月七日 十八日

大東亞戰爭第一周年記念

あの感激を  
國債へ債券へ

大蔵省

第六回 戦時

貯蓄債券  
報國

賣出 十二月七日 → 一月七日

内閣印刷局印刷發行

本誌を戦地にお送りになる場合には送料は内地と同様で封あるひは開封にして第三種と明記すれば、一部一致です。

所 達 申	價 定	情 報 局
全國各地官報 販賣所 書店・驛賣店 新聞販賣店 寫眞材料店	▲特天號の場合は其の都度御拂込金より差額を申受けます ▲薄約配達御希望の方は一部十銭(送料一銭)の都合を以て前金を添へ御申込み下さい ▲外函郵送に依る地域は送料共一部十九銭(送料一銭) 一部十銭 (送料一銭)	昭和十七年十二月九日 印刷發行 編輯者 東京市麹町區永田町一丁目 内閣印刷局 東京市麹町區大塚町

〔列傳欄〕A4規格定価は33大の書本